

国際ビデオ会議

—復興を通じた安全な住宅づくりを考える—

1. 目的

大規模地震においては、建築物が大きな被害を蒙り、死傷者発生的主要原因となることがしばしばである。このため、建築・住宅に焦点を当て、被害の実態と背景、被害軽減のための技術とその普及などについて、参加各国からの報告をもとに、今後、国際社会における取組に寄与するため、知見の交換、今後の取り組みへの教訓について議論を行う。実施に当たっては、より多くの国との情報共有を図るため、日本を含む地震国8ヶ国をビデオ会議システムによる繋いで実施する。

2. 実施主体（案）

主催：建築研究所、政策研究大学院大学

協力：JICA、ユネスコ、世界銀行、日本建築学会 CIB 委員会、CIBTG75（ノンエンジニアド住宅に関する国際的なスタディグループ）

3. 日時

2012年2月22日（水）日本時間午後4時～7時50分（英語のみ）

4. 場所

メイン会場：世界銀行東京開発ラーニング・センター（TDLC）

東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル10階

サブ会場：ビデオ会議システムによりサブ会場を繋いで実施。（JICA 本部、JICA 筑波、JICA インドネシア、バンドン工科大学、JICA フィリピン、JICA 中国、JICA バングラデッシュ、NSET オフィス（ネパール）、JICA パキスタン、JICA トルコ、ニュージーランド・ビクトリア大学（ウエリントン））

5. 内容（詳細は、英文開催案内参照）

（1）近年の巨大災害についての報告（2010年ハイチ、2008年四川、2004年インド洋地震・津波、2011年東日本大震災など）

（2）近年の地震災害についての報告（2011年トルコ地震、2009年パダン地震、2005年カシミール地震）

（3）地震被害軽減の取り組みの事例紹介

（4）国際的な情報共有と被害軽減のためのアプローチ

6. 参加登録

氏名、所属、参加希望会場、連絡先（メール・アドレス、電話番号）を記載して、メール又は FAX で下記に参加登録をお願いします。

連絡先：杉岡 Mail:sugioka@ued.or.jp FAX: 03-3504-0752